

よし！大丈夫の理念を具現化する
運転免許の
ワンストップサービスを提供。

有限会社
八代ドライビングスクール
代表取締役社長

よなもと

要名本 義博氏

取引店／熊本銀行 八代支店



▲左から嶋田校長、要名本社長、林頭取、近藤支店長(熊本銀行)



▲高齢者向け交通安全教習



▲幼児向け交通安全教室の様子



▲大型第二種免許教習車



▲普通自動車免許教習車



▲大型特殊免許教習車



▲職員による道路清掃活動



▲教習生



▲運転席からバスの大きさを体感



▲教習車全車種



▲身体障がい者専用教習車

卒業され、卒業生の累計は約12万人にも上っています。

「よし！大丈夫」の理念の下、教習生の安心・安全のため「完全自宅玄関送迎」を実現

こうした歴史と長年の実績を持つ我が校の経営理念は、「よし！大丈夫」です。

これは校長が考案したもので、多くの方々が抱える運転免許取得にあたっての「不安」、あるいは取得後の「不安」を払拭するための力強いメッセージです。また、運転免許に関することであれば、「八代ドライビングスクールに任せれば大丈夫」と思って頂けるような教習所を目指すというメッセージも込めており、大きなのぼり等で、校内外に強くアピールしています。

この理念を具現化した最も分かりやすい例として、「完全自宅玄関送迎」が挙げられます。これ

卒業生累計が約12万人にのぼる 県内唯一の「全車種教習校」

我が校の歴史は、1955年（昭和30年）に、私の祖父が「八代自動車練習所」を創業したことに始まります。当時は日本が高度経済成長の入口に差し掛かった頃で、来たるべきモータリゼーション時代を見据えての創業でした。その後、60年（昭和35年）に「有限会社 八代自動車専門学校」として法人化、62年（昭和37年）には熊本県内で2校目という早さで、県公安委員会より「指定自動車教習所」（運転免許を取得する際の技能試験と学科試験のうち、卒業生の技能試験が免除される教習所）の指定を受けました。

創設当時は八代駅前という好立地で、順調に事業を行っていましたが、国道3号線の整備に伴う土地収用の対象となり、65年（昭和40年）に現在の場所に移転しました。移転場所を八代市中心部

は、講習の予約をする際に、事前に登録した自宅・学校・職場等の送迎場所を指定頂くことで、その玄関先まで送迎バスをお迎えにあげる仕組みです。この業界では、「完全自宅玄関送迎」を行おうとしても、教習生の入校・卒業、教習予約の有無・時間帯等によって日々送迎ルートが変わってしまうため、運用が困難で、実現させた教習所はこれまでありませんでした。しかし、夜道の一人歩きへの不安や、未成年の教習生をお預け頂いている親御様の不安を解消することが、「よし！大丈夫」という理念を具体的な行動で示すことになると考え、「完全自宅玄関送迎」を10年（平成22年）に開始しました。当初は、手作業で運行ルートの決定を行っていましたが、利用者の増加にも対応できるように、一念発起して、システム会社の協力の下、「モバイル・PC予約システム」と、それに連動した「完全自宅玄関送迎」のシステム

に確保することは困難だったため、現在の八代市平山新町に移転することになりました。移転した当時は営業面で相当の苦労があったようです。

その後、77年（昭和52年）に「有限会社 八代ドライビングスクール」に社名を変更。徐々に教習車種を増やし、2003年（平成15年）に大型第2種運転免許の教習を開始し、県内唯一の「全車種教習校」となりました。

現在我が校では、「全車種教習校」という強みを活かし、地元の旅客運送業者様と提携して、提携業者様の従業員に2種免許（タクシーやバス等、旅客運送のために必要な免許）の教習を行うと同時に、サービス業従事者としての心構えを指南していくことで、プロドライバーの養成にも努めています。

おかげ様で、創業以来多くの教習生に我が校を選んで頂き、現在は年間約1,300人の教習生が



▲前列左から木山事務長、吉野副校長、嶋田校長、要名本社長、林頭取、近藤支店長(熊本銀行)

ム協定」を締結し、毎月2回、公道の清掃活動を行っています。

会社としては、地元企業や幼稚園・保育所、高齢者等を対象とした交通安全講座をはじめとする啓蒙活動^{けいもう}を定期的に行っています。また、災害発生に備え、「八代市災害時協力事業所」への登録も行い、地域の安全に貢献しています。これらの地道な取り組みにより、今年5月に、「八代でいちばん大切にしたい会社大賞」で八代商工会議所会頭賞(2位)という評価を頂きました。

これまでも地域に根ざし、数多くのドライバーを輩出してきた我が校。質の高い教習による「生涯無事故無違反の初心・運転者」の育成はもちろんのこと、運転免許の取得時以外にも「活用頂ける」「地域に開かれた自動車学校」として、また「地域の交通安全センター」としてますます活発な活動を行い、地域に貢献したいと決意を新たにしています。

◎インタビューを終えて

貴校は、運転免許取得に関する教習のみならず、地域の児童や高齢者等を対象とした交通安全啓蒙活動にも積極的に取り組まれ、地域に根ざして歩んでこられました。

弊行でも、日々の営業活動で自動車やバイクを運転する機会が多いため、交通安全教育の重要性について日頃から強く認識しております。

これからも「初心運転者」の育成や、交通安全講座をはじめとする啓蒙活動を通じて、地域の安心・安全に貢献し、「よし!大丈夫」を地域の皆様にお届けされると共に、地域に愛される企業として益々ご発展されることを期待しております。



熊本銀行
取締役頭取 林 謙治



▲要名本社長



▲八代自動車専門学校卒業式(昭和41年)

をゼロから構築しました。前例の無いシステムの開発には多大な労力を要しましたが、現在は軌道に乗り、多くの教習生からご好評を頂くと共に、我が校の業績向上に大きな役割を果たしています。

充実の設備と 優秀な指導員による 万全の指導体制

前述の「完全自宅玄関送迎」の他にも、設備面では県内最大級の教習コースや、「モバイル教習システム」が我が校の強みとして挙げられます。

最高時速50kmで走行可能な約300mの直線道路を備えた我が校の教習コースは県内最大の面積を誇り、ゆつたりと教習を受けることが出来ます。そして、「モバイル教習システム」とは、携帯端末を使用して映像を見せながら、運転のコツを分かりやすく解説するためのシステムで、広大な教

習コースをフルカバーしています。映像を使用しての教習は大変分かりやすいとご好評を頂いており、また、教習の進捗状況等の申し送り事項をシステム上で共有出来るため、指導員間の引継ぎがもれなくスムーズに行われ、一貫性のある指導にも大変役立っています。

また、障がい者専用教習車を1台導入し、障がい者の免許取得を支援しています。今日まで我が校から約30名の方が卒業されていますが、障がい者専用車両を導入している教習所は殆ど無いため、要請があれば他校にも貸し出し、少しでも社会進出のお手伝いが出来ればと考えています。

もちろん、指導員・検定員(終了検定(いわゆる仮免許試験)や卒業検定を実施する担当者)のレベルアップにも長年注力しており、その努力は着実に実を結んでいます。指導員・検定員が毎年受講する必要がある「法定講習」に

において、教習所別の総合成績は直近6年間、県内2位以上を維持しており、昨年度には指導員と検定員の両部門で同時に1位となる、県内初の快挙を達成しました。更に、今年になって、「九州管区警察局長賞」(九州187校中4校の教習所を表彰)を受賞しました。職員が忌憚^{きたん}なく意見を出し合い、疑問点を放置せず周囲と共有していることや、毎朝欠かさず行っている勉強会による知識の向上等の成果だと考えています。

「地域に開かれた自動車学校」として更なる地域貢献を

我が校では社会貢献活動にも力を入れています。職員は、「道路を使って教習をさせてもらっているのだから、少しでも綺麗にするのは当たり前」と、自発的に道路清掃活動を始め、現在は九州地方整備局熊本河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラ